

バス運行に向けた取り組み について

(緑園地区)

長谷川幹夫

(緑園バス運行推進協議会代表)

平成29年1月26日

情報交換会

1 緑園に周回バスを誘致する事由・きっかけ

①緑園は坂の街

街が掘り鉢状になっていて、底の部分に、銀行や郵便局、スーパーなどの商店、医療機関などが集中しており、お使用の帰り道、交通手段の充実が求められている。

②少子・高齢化の昂進

高齢人口比率が高まってきている。
移動手段としての周回バス運行への要望が強い。

2 緑園地区・住民アンケート実施(外出の現状)

○アンケートを実施する目的

- ・住民の外出の現状を把握
- ・バス路線の新設、要望のヒアリング
- ・想定される周回ルート of 把握
- ・相鉄バス二俣川方面路線増便後の利用の意向

◆配布自治会加入世帯数：4709 人口：14681(10歳以上の全家族)◆回収票数：5296
 ◆10歳以上の人口：13629 回収率：約39%

(1)外出に 困っていないか	約半数の方が在宅 うち 半数が困っている と回答
(2)外出の 目的 は何か	買い物、通勤・通学、通院、郵便局など さまざま
(3)外出の 頻度 はどれくらいか	ほとんどの人が、 週1回以上は外出 する
(4) 何曜日 に外出するか	平準化しており、 偏っていない
(5)その他の意見	坂道がきつい と感じている人が多い

3 アンケート調査結果とバス運行への道筋

バス需要推計

	三丁目	四丁目西	四丁目東	五丁目	六丁目	合計
片道	38	30	68	28	55	220
往復	76	60	136	56	110	440

新路線の需要推計(周回ルート) 新路線バスを利用する **440人/日(※)**
 増便路線の需要推計(相鉄バス) 増便バスを利用する **366人/日(※)**

活動経緯

	四丁目西	四丁目東	六丁目	七丁目	合計
片道	36	71	57	18	183
往復	72	142	114	36	366

(※)高野氏による推計条件①外出目的が通勤・通学以外②外出時間が朝夕以外③外出の際は必ずバスを利用すると仮定

	推進協議会の動き	主な活動
平成23年 9月	緑園バス運行推進事業の準備開始	
平成23年12月	緑園バス運行推進協議会を結成	
平成24年 3月	横浜市地域まちづくりグループ登録届け出	
平成24年5~8月	緑園連合自治会、RCA助成金交付受 横浜市地域まちづくり活動助成金交付受	
平成24年10月 ~平成25年3月		アンケート調査実施
平成25年5~8月	緑園連合自治会、RCA助成金交付受 横浜市地域まちづくり活動助成金交付受	
平成25年6月		アンケート調査結果報告展示

4 写真で追うバス運行までの軌跡

相鉄バステスト運行&協議風景



2015・12・01



2016・07・13



神奈中バステスト運行



緑園バス運行推進フォーラム



2016・01・31



5-a バス路線の検討とテスト運行ルート (弥生台方面)

会社名	路線	区分	運行時間帯
神奈川中央交通バス(株)	弥生台駅前～緑園都市駅前	増便	昼間
	緑園循環	新設	昼間

●「神奈中バス 弥生台～緑園都市」増便の意義

① 弥生台周辺には**病院**や多くの**商業施設**の他、**中川地区センター**等があり、緑園住民にとって**生活圏**を形成しているため、特に、昼間の時間帯、増便の意義は大。

●「神奈中バス 緑園循環～弥生台」新設の意義

① 緑園の各町内から弥生台方面に繋がる意義は大。
クリニックや**新橋コミュニティハウス**、**新橋ケアプラザ**を含め、生活圏である弥生台との交通拡充の意義は大きい。

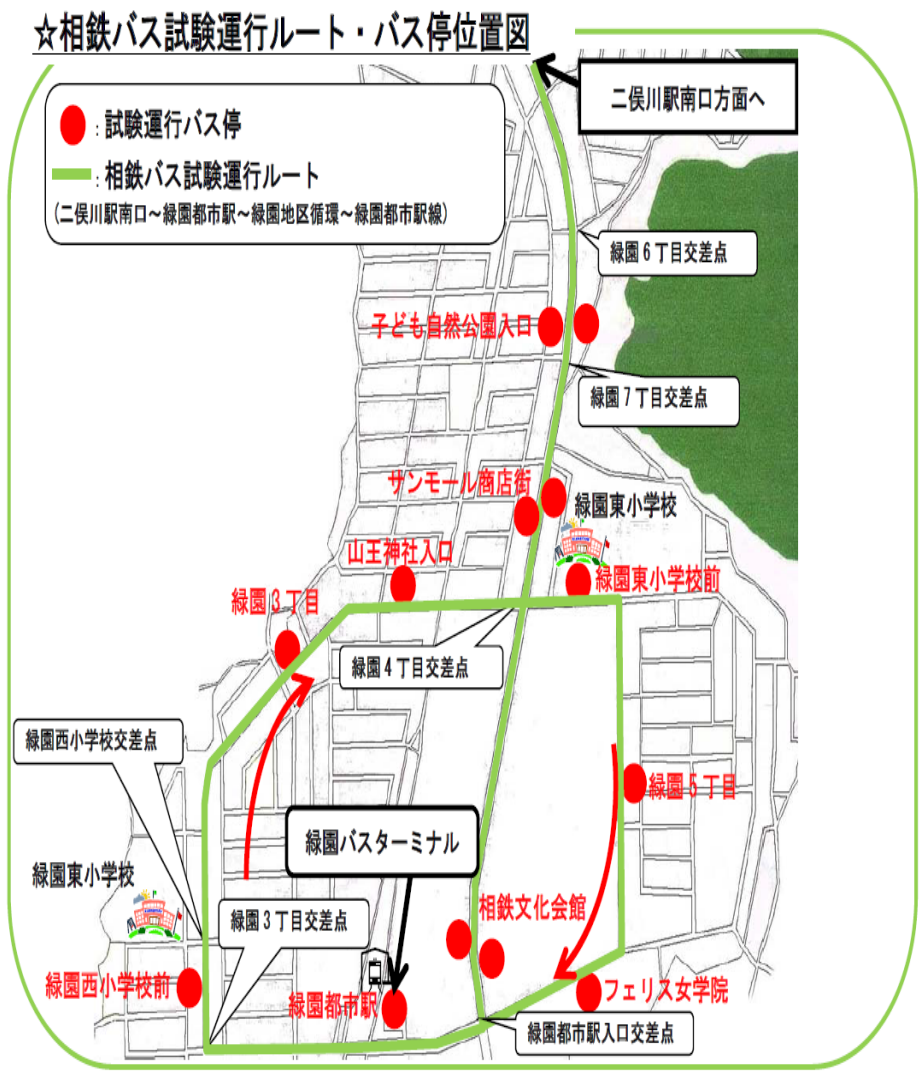


5-b バス路線の検討とテスト運行ルート（二俣川方面）

会社名	路線	区分	運行時間帯
相鉄バス(株)	二俣川駅前～緑園都市駅前	増便	昼間
	緑園循環	新設	昼間

- 「相鉄バス 緑園都市～二俣川」増便の意義
 - ①高齢者対策 緑園都市駅と沿線住民の居住地を結ぶ坂道では**買い物や病院通い**の足の確保
 - ②二俣川南口の**再開発エリア**や周辺の多くの**医療機関の利用**に対する駅前町内住民の利便性
 - ③**非常時**(例えば**鉄道の不通時**)に多方面にルートを持つ二俣川と連結する利便性
 - ④緑園4、5、6、7丁目の住民が特に恩恵を受ける
 - ⑤**二俣川から南万騎が原、緑園**方面に行く住民の利便性
 - ⑥既存の相鉄バスのルートであり、対策を講じ易い

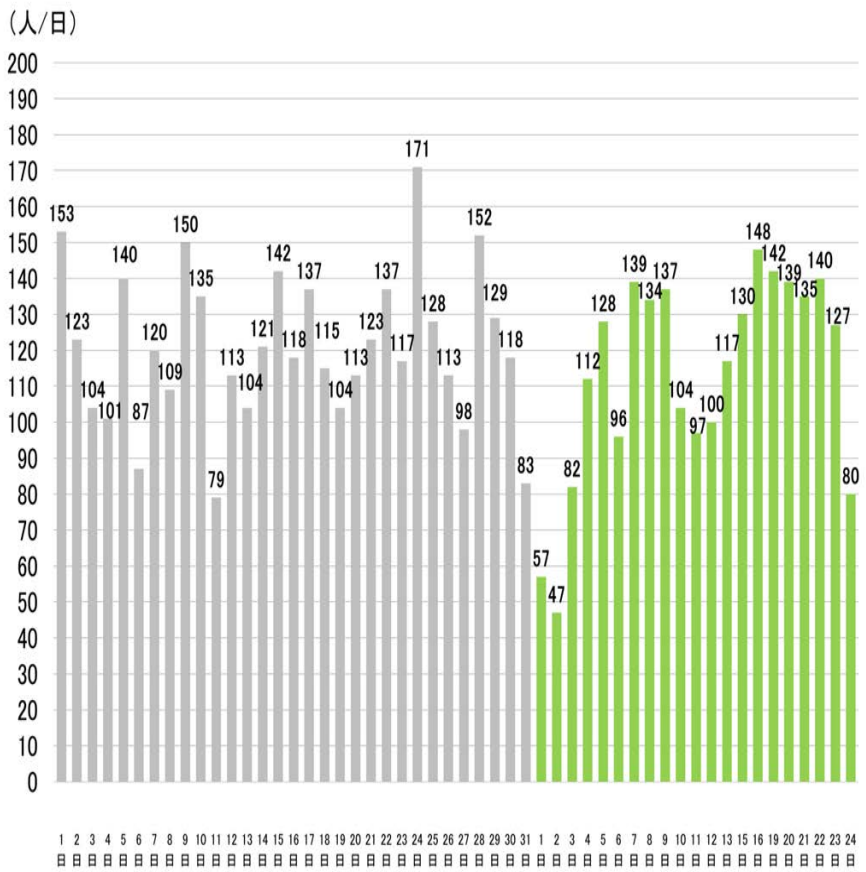
- 「相鉄バス 緑園循環～二俣川」新設の意義
 - ①緑園の各町内から再開発中の南万騎が原や二俣川方面に往復できる利便性
 - ②**緑園各町内間の通行**の利便性



6 広報活動 および 利用実績

NO.	チャンネル	内容
1	「緑園連合News」 緑園各自治会 回覧・掲示	「緑園バス運行推進協議会」 ①2012年10月 ②2013年4月 近況報告 ③2015年7月15日 秋口より試験運行記事:折込 ④2015年10月15日 12月より相鉄バス試験運行記事 ⑤2016年1月15日 2月より神奈中バステスト運行記事
2	チラシ 緑園各自治会 全会員配布 400枚	①アンケート調査協力依頼 ②アンケート分析結果報告会案内 ③テスト運行の案内
3	アンケート分析結果報告会 (展示会)	2013年6月11日～6月17日 緑園都市駅構内ギャラリー
4	行事にてチラシ配布	「緑園ふれあいフェスティバル」にて 資料配布200部
5	「タウンニュース」	①2013年7月4日 報告会(展示会)記事 ②2015年11月5日 試験運行決定記事 ③2015年11月26日 試験運行予定記事
6	YCV放映	2013年7月10日～7月12日 11回 報告会(展示会)の放映
7	緑園バス運行推進フォーラム	2016年1月31日 会場 四丁目西の街ホール
8	その他	毎月開催される緑園連合自治会会議などで随時情報提供

平成27年12月1日(火)～平成28年1月24日(日) 緑園周回バス利用実績グラフ
(MAX171人/日MIN47人/日)



7 テスト運行で得られた結果と今後の方向性

結 果

- バス会社2社によるテスト運行の結果、想定された利用者数に満たなかったが、当面相鉄バスによる二俣川方面路線の拡充に向け、交渉・協議を進めている。

考 察

- 事前調査・住民アンケートによる需要予測数値と実際の利用者数との間にギャップがみられた。
- テスト運行が行なわれた時期が厳冬期～春であったことによる季節要因の影響もあったか？

今後の方向

- 課題が明確になったので、出来るところから進める。
- 緑園都市～二俣川方面相鉄バス路線を優先的に強化する方向でバス会社と協議し推進中。
- 具体的には、バス停の増設、運行頻度を増やす方向。

あしがき

◆テスト運行の過程で発生した色々な問題

- 騒音や安全性への不安から、運行を反対された
- 家の近くへのバス停設置を反対された
- 道路の構造上、運行できない箇所があった

◆事業会社の収益性確保と地域の事情(利用者・住民)とのギャップ

- 運賃収入面で「敬老パス」利用者だけでは無理？
→ 通勤・通学利用者重視
- 一定の利用者負担が求められる？
→ 運行費用に見合った利用者負担を前提とした、運行組み立てが必要か？